



旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校
学校だより 4月号
平成28年4月6日 発行
発行責任者：野田 豊

桜も満開、笑顔も満開

校長 野田 豊

3月の卒業式の頃に開花した校庭の桜が、今日は満開となって新入学の一年生を出迎えてくれました。そして、校門を通る新入生と保護者の方々にも満開の笑顔の花が咲いていました。いよいよ、平成28年度がスタートいたしました。お子様のご入学、ご進級、誠にめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

1年1組28名、あさひ学級1年1名、計29名の新入生と転入生2名を加え、全校児童156名での晴れやかな出発となりました。

「四月」

新しいご本、新しいかばんに
新しいお日さま、新しい空に

新しい葉っぱ、新しい枝に
新しい四月、うれしい四月

金子みすず

私の大好きな詩です。今朝、登校して来る子供たちの元気な挨拶の声を聞いて、新たな一年が始まることのうれしさが静かにこみ上げてきました。と同時に、子供の確かな学びと心身の健やかな成長を遂げさせるという使命と責任の重さもあらためて感じました。

その後の始業式と入学式では、一人一人の真剣な表情から、これから始まる新学期への期待や意気込みが伝わってきました。そうした子供たちの思いに応えるべく、全教職員が一丸となって「全ては子供たちの笑顔のために」を合い言葉に全力を尽くしてまいりたいと思います。

さて、学校は成長の途上にある子供たちが集団生活をする場です。そこでは、それぞれの思いがぶつかったり、すれ違ったりして、時として争いや問題が起こります。笑顔が泣き顔になったり、ふくれっ面になったりすることもあります。しかし、それは人間が人間らしくなっていくために通らなければならない道です。相手を受け入れたり、自分の欲求を抑えたりすることで人間関係のスキルを学び、自己を確立していきます。争いやもめ事をネガティブにとらえるのではなく、子供たちにとっての磨き合いの場、成長へのステージであると考えていきたいものです。

これからの学校教育には、子供自身に課題や問題を仲間と協働して解決することのできる力を身に付けさせることが求められていますが、それは教科の学習だけでなく学校生活全般で大事にしていかなければならないと考えます。問題のないことよりも、起こった問題を皆で話し合い、皆で乗り越え、前よりもよい関係や状況を作り出せる、そんな学級や学校作りに努めてまいりたいと思います。

言葉や対話を大切に、ピンチをチャンスととらえる前向きな姿勢を持ち続け、教職員や子供たちの笑顔があふれた旭丘小を作り上げていきたいと思います。皆様のご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。

○平成28年度 退職・異動・新規採用

※今年度の運営組織につきましては裏面をご覧ください。

○退職 主任養護教諭 鈴木 典子
主任教諭 御子柴千恵
臨時的任用 成毛 亮
山岸 優太
横山 和沙
河野 駿輝
学向上支援講師 東條 千尋
学校生活支援員 野口千恵美

○異動 主任教諭 前田由美子 →立川・けやき台小
主任教諭 小林 舞 →江戸川・二之江第三小学校

○転入 主幹教諭 三浦 寛朗 ←さわやか福祉財団
主任養護教諭 関口 春美 ←練馬・開進第四小学校
主任教諭 田中 涼子 ←大田・入新井第一小学校
教諭 山岸 優太 (新規採用)
教諭 加藤英実子 (新規採用)
臨時的任用 関根 裕子
臨時的任用 白木芙生子
講師(理科TT) 川崎 旬子
学向上支援講師 石田 智美
学校支援コーディネーター 長谷川泰子
学校生活支援員(あさひ) 加藤 久子